

ライブ毎刊びゃっきープレス

2005

無料配布
あたりまえ

10 月 9 日号
ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

byacky press

もう

炎の仕事量に びゃっきー 限界



日々仕事に追われるびゃっきーがこの十月に限界に達した模様。抱えている案件は増える一方で片付かず、待ち行列は長蛇の列。今年の六月頃から続く記録的忙しさにさらに拍車がかかり、いかにしても処理しきれなさそうなのところまできているとのこと。政治家の年金政策やそは屋の出前を見習って、なんとか仕事を先送りしているものの、破綻するのともはや時間の問題。全ての対応は後手後手に回り、そのまま崩しに押しつぶされ写真の状況に。状況を確認した関係者は10月9日のライブをどうするか検討中。いっそのこと追悼ライブにしてはどうかとの案まで浮上している。

6月から多忙で 臨 界 点

駄目

つい先ほどびゃっきープレス編集部は、上の写真を独占入手した。被害者はびゃっきー(永遠の19)。原因は過労、ということらしい。最後の言葉は「びゃっきーはまだ終わっちゃいねえ!」という涙ぐましいもの。その後のドタバタで生死はつきり確認できなかつたものの、上記の状態では、絶望との見方が強まっている。

「普通からげはせはしていました。顔もやつれてドクロベ工機のように。いつお仕置きされるかヒヤヒヤして見えています」とのこと。

10月9日に予定されていたライブはびゃっきーの鎮魂の意味を込めて、びゃっきーの追悼ライブに形を変える予定。出演はびゃっきー本人という、謎というか意味のわからない情報が入ってきている状況だ。そういう演出になるのか、関係者間で情報が混乱しているだけなのか、今後の情報の行方にも注目である。

(哀戦士)

びゃっきーの話
「だから死んじやいねえつてば。数時間寝たらちやんと練習すつからちよつと勘弁してくださいよ。え? 脈拍? そんなこと今どうでもいいでしょうが。」

「しんどい一週間だった。スタートからしんどかったので、乗り切れてよかった。とりあえず、ちよつとだけ一息つけるかなと思います。」
このコメントが寄せられたのが先週末。そのときはまだかるうじて今回の騒動に発展しそうな雰囲気はなかった。

それから数日後、ライブまであと数日と迫ったびゃっきーは、過労でポロポロになった体をおして練習に。時間を見つけてはピアノへと向かった。忙しさを言い訳に練習をさぼるのを良しとしなかった。だが、裏目に

「忙しくて死にそうなくらい。まあホントに死ぬわけじゃないけど。まあ、化けてでも10月9日のライブには行ってやるぐらいの気持ちはあるね。ちよつとハロウィン前だし、化けて出るとても先取りで感じて悪くないかもね笑。」
ある意味前向きな発言だが、正直シャレになっ

この状況を写真に収めた結己カメラマンによると、

「先ほどびゃっきープレス編集部は、上の写真を独占入手した。被害者はびゃっきー(永遠の19)。原因は過労、ということらしい。最後の言葉は「びゃっきーはまだ終わっちゃいねえ!」という涙ぐましいもの。その後のドタバタで生死はつきり確認できなかつたものの、上記の状態では、絶望との見方が強まっている。」

「忙しくて死にそうなくらい。まあホントに死ぬわけじゃないけど。まあ、化けてでも10月9日のライブには行ってやるぐらいの気持ちはあるね。ちよつとハロウィン前だし、化けて出るとても先取りで感じて悪くないかもね笑。」